

No. 36

1996

12月1日発行

萩の郷

発行者
下市田区
発行責任者
富田 隆 仁
印刷
下市田・キタバヤシ印刷

新明神橋開通 渡り初め 萩山郷土芸能「獅子舞」も参加し盛大に！



9月2日開通、長さ226m、幅12m、総事業費42億円（旧橋は昭和7年建設）

区の情勢について

区長 富田隆仁

三十六号発刊に当り若干の情勢を報告致します。

公民館建築について、工

期が埋文調査及び基礎工事の変更により、実動四十日程遅れ、来年二月末頃になる見通しとなりました。よろ

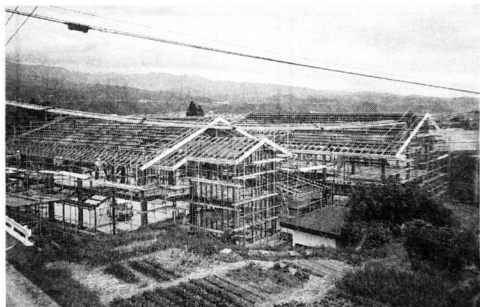
しくお願い致します。

牧の内の溜池が現在機能を發揮しておりません。町を通じ補修を陳情しております。

公民館建築

進行中

これが、ほぼ現在の姿



基礎となる地中は、粘性地盤の為に四mも掘り下げて土の改良として基礎の台座となるラップルコンクリート施工中

活動を振り返ってみて

厚生委員長 北島邦夫

色づいた木々の葉も日増しに衰えを見せ、日々寒さが肌に感じる今日となりました。

が肌を感じる今日となりました。私も厚生部の長を仰せつからず早くも任期が終わろうとしています。

委員長の席が廻って来た時には心臓が飛び出る思いでしたが、良き先輩、良き委員の皆様へ恵まれここまで来れた事に対する感謝申し上げ

した。私も厚生部の長を仰せつからず早くも任期が終わろうとしています。委員長の席が廻って来た時には心臓が飛び出る思いでしたが、良き先輩、良き委員の皆様へ恵まれここまで来れた事に対する感謝申し上げ



懸念分別にあたっては、本年春より下市田区としては廃止に踏み切らせていただきます。各家庭へ文書を流す中で清掃の徹底化を計りましたが、方法についてはまだまだ検討の余地があるかと思ひます。又、薬剤の配布についても有効な利用が必ずしもなされていません。この点についても一考を要すかと思ひます。

最後に、区の役員の皆様を始め、回収業の加藤さん、又収集時応援をいただいた区民の皆様様に委員を代表して心より厚く御礼申し上げます。

委員会通信

緑の自然を相手

林務委員長 有賀重昭

森の持つてゐる国土の保全、水資源の涵養、自然環境の保護への要請は強くなっています。このような公益的な機能が發揮されるように、森林の施業を進めるには、木材の生産ということと調和を図りながら進めなければなりません。自分で試してみたい、実行してみたい林地の理想的な使い方とは、その林地に最も適する樹種を植えて、土地が持っている

森の持つてゐる国土の保全、水資源の涵養、自然環境の保護への要請は強くなっています。このような公益的な機能が發揮されるように、森林の施業を進めるには、木材の生産ということと調和を図りながら進めなければなりません。自分で試してみたい、実行してみたい林地の理想的な使い方とは、その林地に最も適する樹種を植えて、土地が持っている



理されます。図面を見て計画をたて委員会では説明し、よく煮詰め文書を作り、区に配布し山作業の日取りが決定します。

早いもので林務で御世話になつて八年、緑の山々は自分には生き甲斐のある区有林でした。やっと委員会が笑いが出る余裕ある会議が出来ようになりました。林務委員一丸となって頑張つてやっています。区民の皆様の協力をお願い申し上げます。本年も僅かになり頑張ります。

「元祖おしるこ屋さん」大繁盛 下市田区テント村へ

十一月九日、十日に行われた町ふるさと祭りコミュニティテント村へ、テント



二張り出店、出展した。おしるこ屋さんは、芸能保存会の皆さんが担当してくれました。店先には「元祖おしるこ」「無料」のプラカードが下がり、店内には二百年大祭のビデオが流され、テーブルと椅子も置かれ、空席なしの大繁盛でした。また、にわか（獅子舞の）が、背中に「元祖おしるこ」のプラカードをつけて祭り会場をPRした。二日間、千五百杯、二時頃には両日共売り切れた。展示は三種類で、その一つは建築中の下市田公民館を建築進行状況に併わせて撮った写真、完成模型、平面図、立面図等で紹介した。

二つ目は、下市田史談会の皆さんが、萩山神社宝蔵庫に収蔵されていた古文書類を整理修復したものの中から数点展示した。「下市田大川除絵図」は、惣兵衛堤防築堤の五十年後（約二百年前）に描いた絵図面、また、市田・山吹・大島間の山野境界の紛争に対する江戸評定所の裁定等貴重なものばかりである。

保存会からは、新調した獅子頭をテント中央ヘデンと飾り、立看板「躍進、昔の下市田郷、今の下市田区紹介の館」として、コミュニティ活動に一役買うことができた。

区報編集委員会 だより

日頃、区の行事等にご協力ありがとうございます。公民館改築のため、皆様にはご不自由をおかけしたり、後期の行事が開催できないでおりますこと、ご承知おきください。

昨年度より、区報に館報

という文字を加えて、本館に掲示していただくようになりました。

例年の編集委員の研修旅行は、秋晴れの十月十日、高山祭の絢爛豪華な屋台に、巧妙精緻なからくり人形に魅せられ、匠の技と心に触れた思いで、古い町並を歩いてきました。

今後、皆様よろしくご指導の程、お願いいたします。



平成8年度 下市田区会計前半期決算報告書

(平成8年4月1日～平成8年9月30日)

収入金計 20,012,299円

支出金計 11,081,988円

差引残高 8,930,311円

I. 【収入金の部】

項 目	予算現額	決算収入額	比較(予算・決算)
1. 区 費	15,650,000	6,326,700	9,323,300
2. 繰 入 金	1,600,000	38,467	1,561,533
3. 町 支 出 金	6,500,000	2,929,609	3,570,391
4. 財 産 収 入	1,450,000	351,053	1,098,947
5. 寄 付 金	1,120,000	104,158	1,015,842
6. 消 防 義 務 金	2,350,000	2,380,000	△ 30,000
7. 諸 収 入 金	1,480,000	236,032	1,243,968
8. 前 期 繰 越 金	4,000,000	7,646,280	△ 3,646,280
収入合計	34,150,000	20,012,299	14,137,701

II. 【支出金の部】

(単位 円)

項 目	予算現額	決算支出額	比較(予算・決算)
1. 総 務 費	11,353,000	4,592,955	6,760,045
2. 厚 生 費	772,000	235,800	536,200
3. 林 務 費	981,000	261,012	719,988
4. 土 木 費	8,162,000	684,440	7,477,560
5. 水 利 費	5,215,000	2,597,202	2,617,798
6. 消 防 費	3,118,000	1,210,579	1,907,421
7. 公 民 館 費	3,010,000	1,500,000	1,510,000
8. 予 備 費	1,539,000	0	1,539,000
支出合計	34,150,000	11,081,988	23,068,012

平成8年度 下市田公民館中間決算報告書

(平成8年4月1日～平成8年9月30日)

収入の部

科 目	予 算 額	既 収 入 額
1. 繰 越 金	164,000	203,713
2. 繰 入 金	3,010,000	1,500,000
3. 補 助 金	900,000	1,083,000
4. 雑 収 入	1,000	177
合 計	4,075,000	2,786,890

支出の部

(単位 円)

科 目	予 算 額	既 支 出 額
1. 総 務 費	1,903,000	1,255,903
2. 教 養 部 費	1,154,000	584,218
3. 体 育 部 費	553,000	221,470
4. 視 聴 覚 部 費	278,000	48,003
5. 図 書 部 費	107,000	20,000
6. 予 備 費	80,000	61,584
合 計	4,075,000	2,191,178

下市田公民館の 組織(機構改革)について 検討

通り申し入れを行い、順次話し合いを持ちながら、下市田公民館の組織を、「下市田支館(六分館)」という形に移行してゆく方向に進むことに決した。

「申し入れの内容」

高森町公民館は、下市田

支館の必要性を十分認識し、その認識の上に立って、下市田支館の意義、性格、位置づけ等を、町としてはつきり規定し明文化すること。尚、この条件が受入れられなければ、今回の機構改革には応じられない。

公民館各部の 二年間の反省

エーッ、俺が教養部！

教養部長 松岡修 二

昨年一月、公民館長さんにお届けいただいた突然の委嘱状に、いったい何の事な、オーダー話は聞いてら

二年間の反省

図書部長 北沢幸保

二期四年間の図書部長在任中は大変お世話様になり有難うございました。

図書部としての活動は、月に一回の貸し出しと、図書の整理、年に一回の図書の購入(六万円の予算で五十冊程)を行ってきました。又昨年は本棚に並べきれない古本を、二百三十冊程希望者に配布して整理し

た。又昨年は本棚に並べきれない古本を、二百三十冊程希望者に配布して整理し

山な事、いったいどうすりゃあいいんだと何日も悩みました。これ参考に見えんと視聴覚部長さん、過去の事業記録ビデオをお借りして益々震えが来ました。

一つ事業をするのにも準備から当日、そして反省と何回もの会合が持たれます。

夜の集まりが多く一日の仕事に疲れて今夜はよさずか。何を言っとるのよ、教養部が動かにや進まんぞ。ソーダ、引き受けた以上頑張らんと。こうして公民館三役の方を中心に多くの皆さんのご指導のもと十二名の部員が皆で協力し頑張りました。えらい事も多かったけれど、楽しい思い出もそれに負けない位、沢山できた二年がもうすぐ終わります。

ける図書室の在り方、運営の方法等を再検討しなければなりません。部員の選出も各区から男女各一名とすることが望まれます。

最後に、私たち部員の励みとなるよう区民の皆様の一層の利用をお願いします。



二年間の反省とお願い

体育部長 鎌倉孝三

まず初めに、各スポーツ大会にご協力いただいた区民の方々に感謝いたします。春の卓球大会、夏のスローピッチソフトボール、ソフトバレーボールともに各チームの力の差がなくなり、これも各チームの努力の現れかと思えます。

二十九回と長きにわたり続いた卓球大会は、今回をもって終りとなります。このいきさつについては、各支部落主事を通じて報告済みですが、次回からのドツ

二年間を振り返って

視聴覚部長 唐沢清美

視聴覚部は部員総勢八名で、どちらかといえば公民館行事の裏方として活動して来ましたが、来年度よの春祭り、真夏の太陽の下での萩の里祭りの準備など苦勞があればこそ良い結果が得られ、又部員の志気も上がりました。

今年度は公民館の改築中であり、年間計画でカラオケ大会、文化祭り等は新築落成時に行う予定でしたが落成式が平成九年当初となり今年度活動は半減しました。

特集

出砂原堤防(明神橋堤防)

二区 北原金二

その1

出砂原堤防は惣兵衛堤防

(大川除堤防)の用水路を保護するために設置された、なべづる堤防の後に出来た堤防である。始めに惣兵衛堤防を簡単に記すと、飯田藩では、天竜川の水害を防ぎ水田を開発して米の増産をはかり、藩財政を安定させる為、下市田村に惣兵衛堤防を造築した。(最初は

大川除堤防と言う) 堅牢な堤防が出来ても二百五十町歩の水田を潤す用水が最重要にて、大川除堤防工事とあわせて用水路の開削が行われ、取り入れ口、水門なども造られ、まぶ口と言われた。この水路を大井・天竜井(小天竜)とも

称せられる。 最初の大井(まぶ口)の取り入れ口は、大川除堤防の頭部より二百八十間、いまの明神橋のたもと東五十(上部の中)二・五間、高さ二間、根敷(下部の中)四間余、工事費千八百五十両余といわれる。村民は持高に依じて人足を出したといわれるが人数は不明である。

堤防の位置を決定する基準には、上下二ヶ所に亀甲石をおき、これを基準に測

量を行った。

完成後は、市田・座光寺・上郷諸村の開田面積は二百五十町歩余にもなった。この堤防は実に堅牢で、昭和三十六年(一九六一)の大

水害で遂に決壊したが、二百余年の歳月を風水害に耐えた。

史料(1)水口より下流へ長さ十二間、水口より二間入った所に幅二間の水門、川に面して馬踏三間高さ一間半、一間四尺、根敷五間の石積の堤防あり、井幅二間。

(2)それより大川除堤防頭まで、二百三十間井幅一間半、大川除堤防頭四尺五寸の水門、水門の上手に放水路がある。川に面して馬踏一間、三間の土手あり、土手の外に捨て石がしてある。

なべづる堤防は、天竜井(大井・小天竜)を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。



大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

大井・小天竜を保護する為造られた。

表面

裏面

大正四年五月

大島 虎太郎

野村 喜太郎

大沢 米太郎

坂牧 忠作

坂牧 太金治

松島 数太郎

大島 平八郎

築堤記念碑

小運動会&コミュニティ事業 交歓交流会・芸能祭

一区部落主事 吉沢 清美

一区最大行事、第六回小運動会&第十一回コミュニティ事業交歓交流会・芸能祭を、十月十三日に南小グランド・体育館にて行うに当り、前日午後より役員の皆様の御協力により予定通り準備を終える事ができました。生憎夕方より雨降りとなり心配をしましたが、

当日雨もやみ、花火の合図で早朝よりグラウンド整備他を行い、予定時間ぎりぎりに間に合う事が



地域の紹介

運動会の仕組み

二区部落主事 矢沢 智

「運動会のことでも書いてくれん？」ということばに誘われて、二区が運動会を行うその仕組みについてお知らせ致します。

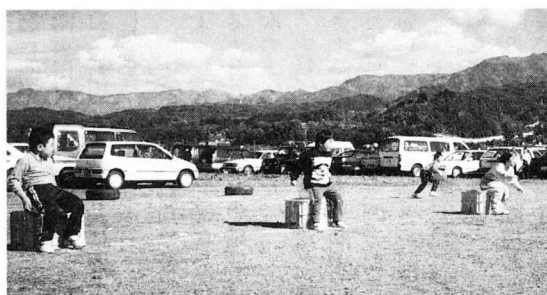
今年二区では九月下旬に

なると体育館を中心に運動会の準備が始まりました。前回は雨で中止、今年は

百二十戸ほどの規模で運動会をやれば当然のことながら選手兼進行係兼応援団

プログラム通り自由種目、パン食い競争、家族四人ボール運び競争、借り物競争、乳園児競技風船ひろい、採点種目、各常会対抗では二十チームが参加し、ボーリングリレー、縄結び競争、ウォーターリレー、血圧測定、綱引き等では特に熱が入りました。

吉川町長さん、富田区长さんを始め御来賓、部落三役の皆様の競技、パン食い競争では応援席より大歓声を浴び、盛り上がり花を添えていただきました。最後



というスタイルになる訳ですが、大小異なる七常会なので現在のところ常会対抗

や採点の形成はとっておりません。紅白に分かれ、紅白それぞれ二チームに編成した四チーム程度で競技を行います。常会の規模に応じて各種目ごと選手の数も前もって調整されます。採点種目を設けず勝負にこだわらないところが「ふれあい運動会」の良さかも知れません。ごく平たく言えばお膳立ては体育館、当日の競技の進行は皆さんがよくご存知の共星会、選手の選出は各常会という三本柱から成り立っております。舌足らずであります。何かの参考になれば幸いです。

午後の部は二時より南小体育館にて、部落長さん、御来賓を代表しての挨拶後、プログラムにそって各常会、各クラブ等にて大正琴演奏、女性の太鼓、踊り、民謡、カラオケ等プロ顔負けの芸達者の方もおり、趣向を凝らした出し物で大盛況で終りました。

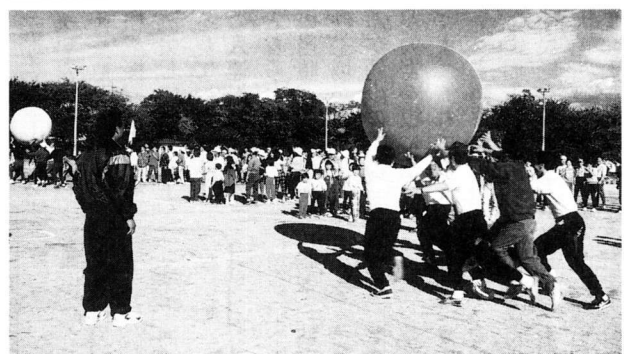
みんなが楽しめた 力行会「ふれあい運動会」

三区部落長 今村 保一

十一月三日文化の日に行われた。昨日まで心配していた雨も上がり、絶好の運動会日和であった。

九月より各常会から実行委員会を推薦頂き、公民館部落主事、部落体育部の皆さんが中心となり何回も打ち合わせ会を持って頂き、実行委員会の方々が担当分担によりキビキビと準備をされる様子を見せて頂いた時、運動会の大きな成果を感じました。

十時開会の時間には、大勢の皆様のご参加と、三区の力強いパワーが広い小学校の運動場を埋め尽くしていました。



この日はやはり、年を忘れたお年寄りから子供、幼児の皆さんが運動会の輪の中に溶け込み、一つになって一日を楽しむ事が出来ました。名実共に実行委員会の皆さんに命名して頂いた「ふれあい運動会」そのものでありました。笑いの渦の、

私の望郷の念

出砂原出身 福島 芳彦

(川崎市在住)



昨日(三十日)、NHKの昼のテレビで、市田柿が紹介されました。同時に高

森町の豊かな穰りの秋が放映され、星野知子タレントの演出もさることながら、暫し、著

てきました。川崎に小さな診療所を開いてはや二十年、医療の変遷激しい中、夢中で頑張っ

自由になり、より回数多く出砂原に帰れると、望んで

し、先さきの社会

(旧福島歯科医の子息)

中、お互いが感動と共に思い出を多く残された事と思ひます。事故もなく、楽しい懇親会にも大勢の方々のご参加を頂き、時の過ぎるのを忘れ賑かに運動会を語り合い、よりお互いの強い絆を感じ合い、確かめ合う事が出来ました。

下市田のみなもと

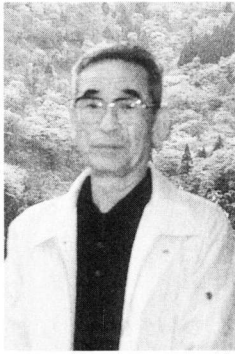
いんじなもと



追憶

五区出身 小川 裕 秀

(川崎市在住)



の大きな飛行機(グライダー)を作っていた、飯田中学の四年生の時

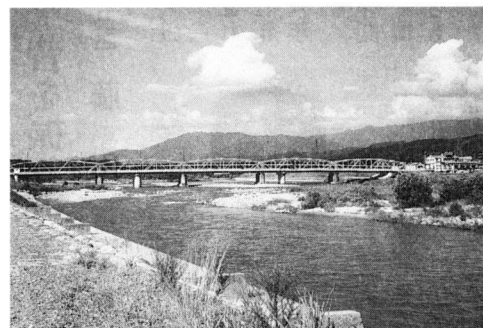
当時中学生といっ

昭和二十年八月の敗戦を知ったのは諏訪湖畔に約一年間、勤労動員されて布製

んでいた。敗戦後はもっとひどかった、衣食住の足りないのは勿論だが、自分の身のふりかたを考えると

就職は今と比較にならないほどであったが、幸いにもNECに採用されてほ

この素晴らしい一日を企画し、準備し、実行して頂いた方々と、三区の皆様のご協力に感謝申し上げます、三区ふれあい運動会の成功を共に喜びたいと思います。



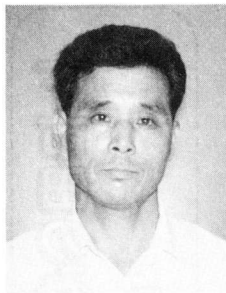
新旧並んだ明神橋

地元の三角点

四区 竹村 征夫

地図に載っている三角点を現地に行ってみると、意外に難しく楽しい。

本学神社のは、すぐに見つかった。千早原の開墾堤のは、非常にわかりにくい所にある。山吹共栄付近のは、地図では果樹園の外側になっていたが見つからず、



もしかして果樹園になっている可能性もあると思い果樹園の中を探したら、あった。大島山の中央道のは、ひどかった。すぐに見つかるはずなのに、この辺だと思ふ所に、中央道沿いの草を刈って集めたのか、束ねた草が一メートルの高さに積まれていた。そこらにあった棒と素手で腐った草の束をどかし「もうあきらめよう」と思った時に棒が石を感じました。飯田家具南のも苦労した。果樹園の中には枯れた草むらの中にありました。私の地元の新

ゴミ袋のつぶやき

二区 倉澤 秀司

下市田河原の幹線道路は農免道路のネックとなっていた。座光寺地区の一部が開通した事あって朝夕の通勤時には飯田方面、工業団地への通勤者の車で国道並のラッシュ状況にあります。

運転者が少しは遠回りしても信号機の無い道を選ぶ事は無理のない事かも知れ

ません。しかし周辺が水田地帯である事から空カン、空ビンの投げ捨ての現状は目を覆うものがあります。最近こんな事がありました。幹線西側の道の交差点に半年ほど前大きな黒いビニール袋が四つ並べて捨てられてありました。毎日田水の管理等でそこを通る私には、中身が何だろうかと

随想



井の松岡城址の一つ南の山にあるはずの三角点は、田んぼが終った所から林に入り、まん竹の林が続く、そしてしばらく行くと高森史蹟松岡南城址という大きな木の標識がありました。「ここに史蹟が」と驚きました。道は、まったく無き人間が歩いてできた一人分の踏み跡だけです。更に奥に進んで行くと外掘址があり、まん竹の林が続く

気になりましたが、袋はしばらく放置されておりました。近頃カラスか人のいたずらかその袋が破られておりました。「やはり」中身は紙オムツ、生ゴミ、トレーでした。

多くの人の目につきやすい場所に捨てられ無言で何かを訴え続けたこのビニール袋、最近片付けられましたが、おそらくは内容からしてここを通過している地区外の方が置いて行かれたものと思われれます。空カン

思いつくまま 昔を振り返る

五区 藤田 昌幸

私は、この九月満六十七歳となりました。

昭和四年喬木村に生まれ六十年間過ごし、平成二年高森町下市田に来て早六年過ぎました。

下市田己年同年会の仲間に入会させて頂いて漸く慣れて来ました。これからも宜しく御願い致します。

さて、区報原稿依頼を受け思いつくまま、昔を振り返ってみたいと思います。

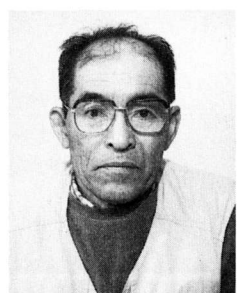
伊那谷を流れる天竜川の東西に阿島と下市田があります。

昭和十年代春祭りの頃になると萩山神社の祭り囃子の笛の音が天竜川を渡って聞こえて来ました。

騒音の多い今日この頃と違い、平和な静かな毎日でした。

楽しみの多い夏休みとなると、紺碧の空に真白い入道雲の湧き上がる勇壮な自然を眺めながら清く澄んだ天竜川で水泳を楽しみ、上級生等は、二km程上流の明神橋迄上って行って、波乗りを楽しみながら下って来たのも懐かしい情景です。

又、鮎釣りのおじさん達も現在より少なく、竿も七八m有る自然の竹で作ったものを使用しておりました。魚体も大きくて、立派な形をした鮎でした。当時の釣人は、それを業としていた様に思います。



師走の一日、隣のおじさんの荷車の後押しをし、出砂原へ来ての帰り道、明神橋から下を見ると橋台の廻りの水深が二m位あり、六〇cm位の鯉の群がゆうゆうと泳いでいる様子を見て感動した事を思い出します。今、昔を振り返ると、今では経験出来ない事を経験出来た自分は幸せだったのかなと、ふと思う時があります。

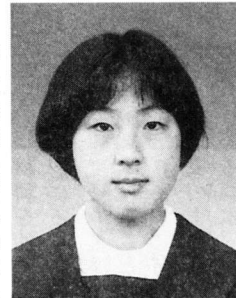


わたしの作文 ぼくの作文



ミラボロリンが できるまで

中一 渡邊 彩香 (三区)



彩香さん

私は、学校の部活で演劇部に入っています。部員はみんな、とても仲良しです。
私達は、十一月四日に行われた伊那谷文化芸術祭で、「ミラボロリン」を発表して来ました。
発表の時間は一時間ほどなのですが、それまでの練習、道具作りはとてとても長い時間かかりました。私は音響係でしたが、曲決

めも大変ではなかったし、ステージ練習のときしか、曲を流すことができなかった。なので、大道具、小道具をと

作っていました。ダンボールで、本だな、センベツキを作るのは、とても大変な作業でした。本だなの中の「本」までダンボールだったのですから、形を決めて、切って、はって、色をつけて……。そのくり返しでしたが、なかなかこれが、うまくいかなかったのです。でも、みんなががんばって、すべて完ペキにして、本番へ臨みました。

緊張して少しまちがえてしまった所もあったけど、心残りが無いように出来たと思います。

私と剣道

中二 松澤 宏美 (一区)

小学校三年生から、今に至るまで五年間剣道を続けてきました。

大きな声を出し、自分に気合いを入れ、相手の出る瞬間をねらって打つ。

これが剣道です。

真冬の朝。あの体育館の床の冷たさは、始めた当初から変わリません。

赤くなる手をこすりながら、竹刀を握り、相手めが

けて打つ練習はとてつらく、やめようと思ったことが度々ありました。

そう思いながらも、友達とはげまし合い、ひと冬ひと冬をがんばって越してきました。

三月には、段級審査があり、級を取得します。私は級を取得するたびに、もう少し続けてみようと思い、今日まで続けてきました。

私は、現在二級ですが、今までやめようと思っていた剣道を自分の意志で続けてきたからこそ、このような結果が出たのだと思います。



中央が宏美さん

先輩、後輩の関係のあまりない剣道部です。先生や先輩から、色々な技を教えもらい、身につけてきました。先生は、常は優しいけれど、いざ練習となると、とてもきびしく私達をしごいてくれます。

今後、挫折することもあるかもしれないけれど、自分を心身共に鍛えて、剣道を続けていきたいです。

松本くうこうへ いった時のこと

小二 原田 香 (六区)



香ちゃん

十一月三日に、松本くうこうへ行きました。ちょっとみちが遠かったけど、天気がよかったので、山のこうようが、とてもきれいでした。赤や黄色やみどりや、もうちっちゃっているところもありました。私がねむくてぼーっとしていると、ついてしまいました。回りを見た、たてものが大きくて、川がながれていて、山がことうようにしたので、とてもきれいでした。その日は、たくさん人が来ていて、車をとめるところがなくて、一周まわって行くうちに、二つ空いていたので、右のところにとめました。中に入ったら、とてもきれいでした。お昼ごはんを食べた後、かいだんをのぼって一番上へ行き、ひこうきがちやくりくするとところを見ました。ぐるっと回ってひこうきが、線びつたりのところにとまりました。「ワァーすごいなあ。」と思いました。そのあと、となりの公園へ行って、アスレチックであそびました。そのよこに、青いかわのジャングルジムがあって、そのてっぺんにのぼった時、ひこうきが上がつて行くところでした。「ゴォー。」とすごい音をたてて、かっこよく上がって行きました。「ワァーかっこいい。」ときげんでしまいました。とても楽しい一日でした。

グループ紹介

フレンドシップ

久保田 智 文

今から五年前、中学二年の子供が小学校三年の時、担任の先生にクラス全員の母さん達が、各々一枚ずつパッチワークした物を縫い合わせて一枚の大きなキルト「フレンドシップ」を作り、三月のお別れ会の時、

私達のお花のクラブは、すみれ会という名で昭和五十一年に発足しました。早いもので今年で二十年を迎えました。近所のお花の好きな人が集まって習い始め、現在では六名のクラブ員で活動しています。

講師には下市田の土屋先生をお願いし、先生の熱心な御指導のもとで毎月一回行なっています。会場はク

すみれ会
上 沼 宣 子

皆大変喜んでいます。生け花はいろいろな流派に分かれています。私達は龍生派です。龍生の生け花の特徴は、いろいろな材料を使って、形にとらわれないことなく大きく生けることにあります。材料も家のまわりにある草木、花などを、枝ぶりをしながら切って持ち合わせ、組み合わせることで楽しんでいきます。こうして改め

で作品作りに取り組んでいます。手持ちの布を交換しあったり、小さな布の集まりに計り知れない魅力を感じながら楽しんでいきます。年に一度、ふるさと祭りへの展示参加も作品作りの一つの励みになり、作品作りの夢も広がって行きます。時には縫う事も忘れ時間も忘れて、子供の様子など情報交換することもあり、同じ年頃の子供を持つ親同志、悩む事も同じだったので、

仲間との語らいの中で、ふと方向を見失っている自分に気づかせてもらおうことがよくあります。年に一度の一泊旅行、去年は横浜、今年は軽井沢、バカを言っているのは大笑いしたり、夜遅くまでのおしゃべりは女性の特権でしょうか。何より楽しいひとときです。一品持ち寄りの忘年会、料理のレパートリーも広がります。共通の趣味を通して、どこかで支え合える仲間です。

て振り返って見ると「ずいぶん長く続いたものだ」と自分でも感心しますが、腕の方はなかなか上達しないように思います。それでも季節に合わせてお花が家の中に生けてあると、心がほっとした気分になります。また、気の合う仲間が顔を合わせ、たわいもないおしゃべりをしたり、仲間の生けた花を見て「こういう生け方も良いな」などとお互いに勉強し合っていると楽し

い一時を過ごしています。その他に年に三回行なわれている飯田華道協会の花展を見に行くのも楽しみの一つです。今は昔とちがって花器も花のうちで、きれいな色や形もすてきな物があり、その特徴を生かし「あ」と驚く様なすばらしい生け花が沢山あり毎回楽しみにしています。これから楽しく続けて行きたいと思



編集後記

伊那山脈の山々は、茶色から灰色に近くなり、頭だけ見える南アルプス白根三山は、もうすっかり冬化粧を済ませており、冬の到来も近い。区報・館報編集も愈々この号が最後である。「暑い暑い、寒い寒い」を二度繰り返したが、これで終りと思うと、流石に少々感傷的になって来る。今回はいろいろなことがあった。公民館建物改築の研究から建設、芸能保存二百年祭、萩山神社宝刀問題、そして公民館機構改革と続いた。区報・館報の編集もそれなりに頭を悩ませた。投稿者の方々に無理を申し上げ、又なるべく図や写真を取り入れたつもりである。然し振り返ってみると決して「上出来」とは云い難いが、何とか記録として残すことが出来たのではないかとと思う。

所謂大過なく、区報・館報の編集発行を終了出来たのは、編集委員と投稿者の方々のみでなく、全ての区民皆様方のご協力によるものと、感謝しております。有難うございました。